

平成 28 年度 KABSE 学生研修会

1. 内容

就職活動を控える学部生，修士学生，高専生を対象に，道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性・現状・今後の展望について，ゼネコン，橋梁メーカー，建設コンサルタント，鉄道，官公庁などで活躍する若手・中堅技術者の皆さんに講演して貰います。各業界での実務内容，社会に対する建設系技術者としての役割やこれから社会へ羽ばたく学生へのメッセージがメインテーマです。

2. 主催

一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会 (KABSE)

※ 一般社団法人九州地域づくり協会の人材育成助成事業の支援を受けています。

3. 日時

2016 年 10 月 29 日 (土) 第 I 部 : 13:00~17:00, 第 II 部 : 17:15~19:00

4. 場所

福岡大学 工学部 5 号館 513 号室 (七隈キャンパス)

5. 定員

第 I 部 100 名, 第 II 部 50 名 (申込者多数の場合は先着順)

6. 参加費

第 I 部 研修会 無料

第 II 部 交流会 2,000~2,500 円程度 (飲食代として)

参加者へは，交通費としてその一部を補助します。

7. 第 I 部 研修会

12:15-12:45	受付		
13:00-13:10	挨拶	KABSE 運営委員会委員長	中村 聖三
13:10-13:40	(株) 富士ピー・エス		坂本 健俊 氏
13:40-14:10	(株) オリエンタルコンサルタンツ		工藤 徹郎 氏
14:10-14:40	鹿島建設 (株)		上田 翔 氏
	休憩		
15:00-15:30	福岡市 (九州大学)		津留 真哉 氏
15:30-16:00	計測検査 (株)		大山 晶子 氏
16:00-16:30	JR 九州		高橋 拓大 氏
16:30-17:00	質疑		

8. 第 II 部 交流会

17:15-19:00 福岡大学内 「ひだまり」

9. 申込・問合せ先など [申込締切日: 10 月 14 日 (金)]

- ・ 氏名，所属，学年，所属研究室，メールアドレス，第 I 部・第 II 部のそれぞれの参加を申込時にご連絡下さい。なお，研究室単位で申込み頂ければ幸いです。
- ・ 当日，KABSE の学生会員として登録をお願いさせて頂く予定です。

一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会 事務局 進野久美子

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 6F

TEL/FAX 092-737-8570

E-mail : jim@kabse.com

平成 28 年度 KABSE 学生研修会の開催報告

広報活性化小委員会

今年で 11 回目の開催となる「学生研修会」が 2016 年 10 月 29 日（土）に福岡大学にて開催された。この研修会は、2006 年から年 1 回のペースで開催しており今年で 11 回目を迎えた。学生研修会とは、就職活動を控える学部生、修士学生、高専生を対象に、道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性・現状・今後の展望について、ゼネコン、橋梁メーカー、建設コンサルタント、鉄道、官公庁などで活躍する若手・中堅技術者の講演を柱の一つとしており、これから社会へ羽ばたく学生へのメッセージをメインテーマとしている。本年度は、6 名の講師に登壇いただき、各業界の仕事内容の他、各々の立場や経験を踏まえて働くことの意義についても講演いただいた。さらに、本研修会では、九州内の学生相互のネットワークを育成して、土木建設業への関心を高めて貰い、将来の九州の若手技術者を連携することも目的の一つである。

第 I 部（13:00～16:30）では、坂本健俊氏（(株) 富士ピー・エス）、工藤徹郎氏（(株) オリエンタルコンサルタンツ）、上田翔氏（鹿島建設（株））、大山晶子氏（計測検査（株））、津留真哉氏（福岡市（九州大学））、高橋拓大氏（九州旅客鉄道（株））の第一線で活躍されている 6 名の講師に講演頂いた。また、KABSE の概要や取り組みについて、KABSE 運営委員長の中村聖三先生（長崎大学）に報告いただいた。第 II 部（17:15～19:00）では、講師と学生の立食形式による懇親会を催した。

参加者数は、第 I 部は学生 83 名（九工大 19 名、九州大 15 名、福岡大 33 名、長崎大 5 名、熊本大 7 名、宮崎大 4 名）、社会人 19 名（講師 6 名、他 13 名）、第 II 部は学生 68 名、社会人（講師 6 名、他 13 名）と賑わった。

学生研修会の実施後のアンケート結果の一部を紹介したい。学生研修会への参加の動機は、「先生からの案内」が一番多かったが、「内容で判断」と答える学生も多く、各大学・高専で過去に参加した先輩達から本研修会の内容が有益であったことを後輩達に伝わっている証であると考え。以下に講演に関する意見・感想の自由コメント（原文のまま）をいくつか紹介する。ほとんどが「参加してよかった」というポジティブな感想であったが、なかには今後の要望を挙げている学生もあり、今後の企画・運営に反映させていきたいと考えている。

- 学生に伝わりやすい内容で非常に為になりました。
- 自分が興味を持っていた職種以外の方のお話を聞くことができ、視野を少し広げることが出来ました。
- 今日の KABSE 学生研修会での講演を聞き、「コミュニケーション」と「維持管理」というワードが印象に残った。全ての土木業界で、コミュニケーションを維持管理が大変重要であることが分かった。インターンシップでお世話になった企業でも、「一人では仕事は出来ない」という言葉が印象的だったが、今回の講演には、それに通ずるものがあり、とても有意義な時間になった。
- 貴重なお話が聞けて、自分の将来について深く考えるきっかけになりました。ゼネコン（橋）のみならず、コンサルタント・公務員・鉄道など様々な業種の話が聞けてとても良かったです。
- 初参加でしたが、各業界のお話を聞くことができ、多くのことを知ることができた

いい機会となりました。女性技術者の話はとても興味深くもっといろんな方からお聞きしたいと思いました。

- 貴重な講演をしていただきありがとうございました。様々な業種内容を一度聞いて比較できるような機会はほとんどなく、就活を前に自分をもう一度見つめなおすことが出来ました。今後の要望といたしましては、「いいところばかり聞いても、業種が本当にいいのか信用できないので、個人的な意見でもいいのか悪い点も聞きたかった。一般的な意見やアンケートだけではなく、個人的な意見をもっと聞きたかった。」といった点が挙げられます。本日は本当にありがとうございました。

学生研修会に参加した学生たちが社会に巣立ち、九州を中心とした若い世代のネットワークが広がることを期待して、広報活性化小委員会としては今後も本研修会を継続していくことで、学生のキャリアプランや就職活動に対して有益な情報を提供していこうと思う。最後に、会場を提供して頂いた福岡大学の渡辺浩先生、千田知弘先生、また会場設営の準備を手伝ってくれた福岡大学の今井晴輝君と高木雅治君をはじめ、ご協力頂いた関係各位に深く感謝したい。なお、今年度の研修会は一般社団法人九州地域づくり協会の人材育成助成事業からの助成支援を受けて開催された。重ねて謝意を表する。

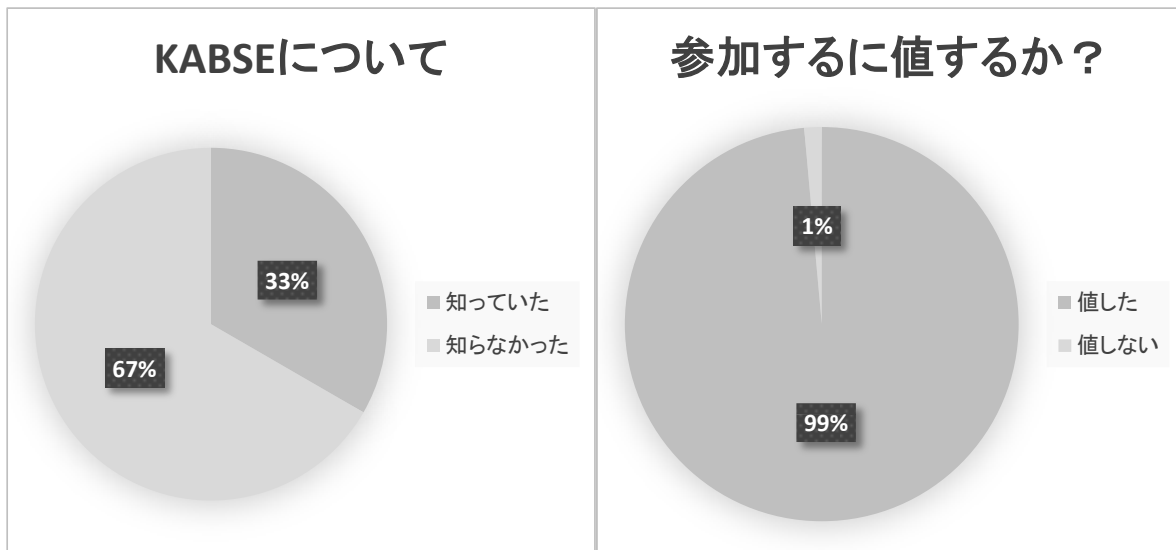


写真-1 第Ⅰ部

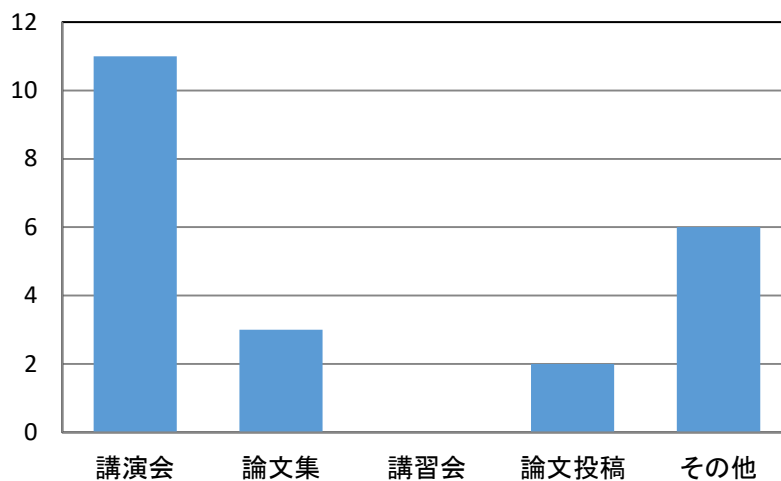


写真-2 第Ⅱ部

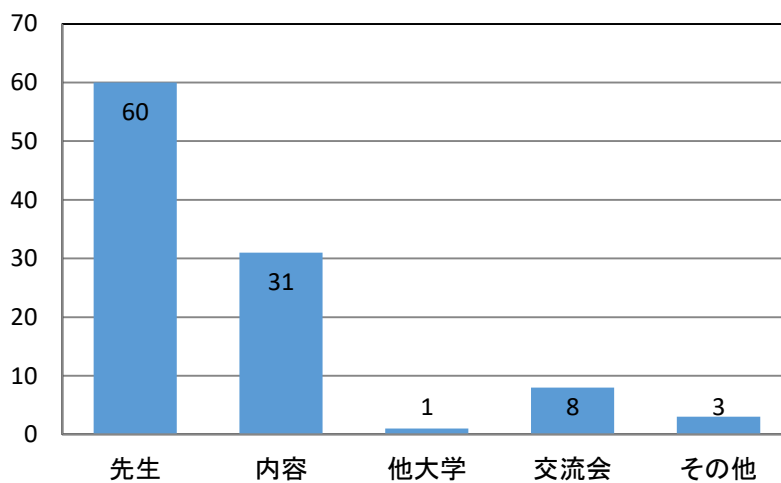




KABSEとの繋がり(回答者22名)



参加の動機



希望するイベント・内容

